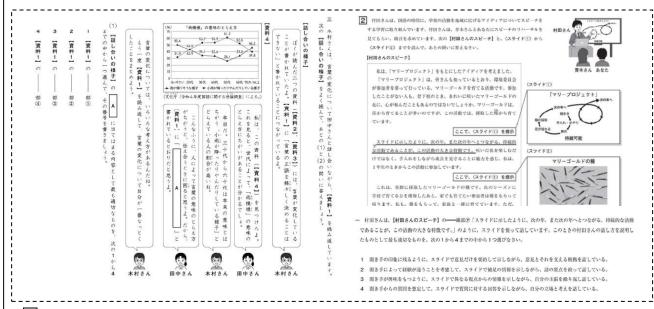
令和7年 4 月17日実施 全国学力・学習状況調査 【小学校 国語】 松山市の調査結果の概要

1 国語について

全国と松山市の調査結果を比較すると、平均正答率は、ほぼ同じ状況でした。

学習指導要領に示されている「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の領域は共に全国平均とほぼ同じ状況でした。

2 分析結果から特徴が見られた問題



2 ---

正答 2

全国の正答率 65.5% 松山市の正答率 全国の正答率をやや下回る。

2 一四一イ

下線部を漢字で書く問題

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

正答 暑い

全国の正答率 72.1% 松山市の正答率 全国の正答率をやや下回る。

 $|3| - \Xi - (1)$

正答 3

全国の正答率 40.8% 松山市の正答率 全国の正答率とほぼ同じ

3 考察

[2] 一一は、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる問題です。1と解答した児童の割合が全国平均より高く、伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていると捉えることができなかった児童が多いと考えられます。

2-四-イは、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題です。誤答率が全国平均を上回り、「暑い」という字を「熱い」などと記入した児童が多いと考えられます。

③一三一(1)は、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題です。文章の中から目的に応じて必要な情報を取捨選択したり、整理したり再構成したりすることが求められます。2と解答した児童の割合が全国平均より高く、「人によって言葉の意味の捉え方がちがう」ことを「本来の意味」「本来とは違う形」であると考え、複数の資料を結び付けようとしたが、必要な情報を整理することができなかった児童が多いと考えられます。

4 これからの学習にあたって

内容のまとまりで段落をつくるためには、書こうとしている材料の中から、中心に述べたいことを絞ることが 重要です。このことによって、中心となる事柄や、それに関わる他の書きたい事柄が明らかになります。

必要な情報を見付けるためには、実生活で図表を含む様々な情報に触れた際に、文章と図表などの情報を合わせて読んだり、複数の資料を関連付けて読んだりすることが大切です。